

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 25. 5. 14 第 183 回国会第 7 号

5 月 14 日（火）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

・林農林水産大臣、江藤農林水産副大臣、長島農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

津 島 淳君（自民）

- ・産業界に我が国の農林水産物の購入、販売、取扱い等を働きかけ、官民一体で我が国の農林水産業を成長させていくことについて農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・農地の中間的受け皿について、平成 26 年度予算の概算要求にどのように反映させていくのか。
- ・農業水利施設保全合理化事業について、平成 26 年度予算の概算要求に向けてどのように取り組む考えか。

堀 井 学君（自民）

- ・北海道・東北の太平洋沿岸地域におけるサケの回帰率を回復させるためにどのような取組を行っているのか。
- ・トド、キタオットセイ、ゼニガタアザラシ等の海獣による漁業被害に対し、どのような対策を講じているのか。
- ・漁業燃油高騰対策である漁業経営セーフティーネット構築事業に係る基金の十分な確保と異常高騰となった場合の特段の措置が必要と考えるが、農林水産大臣はどのように考えるか。

佐 藤 英 道君（公明）

- ・TPP交渉に参加する上で、攻めの農業を本格化させるためには相当な研究、努力が必要とされるが、農林水産大臣はどのような決意で臨む考えか。
- ・輸出拡大に向けて日本の優れた技術をフル活用するための国内対策の現状と今後の展開はどうなっているのか。
- ・燃油及び配合飼料の価格高騰に対し、今後どのような対策を講じるのか。

後 藤 齋君（民主）

- ・南アルプスのエコパーク申請に関し、農林水産省と文部科学省が連携してバックアップすべきと考えるが、農林水産大臣はどのように取り組む考えか。

- ・1ドル102円台という現在の為替レートについて、農林水産大臣の立場としての感想はどのようなものか。
- ・ウナギの完全養殖に係る研究をバックアップすべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えるか。

村 岡 敏 英君（維新）

- ・気温、風土が多様な我が国においては、地域の実情に応じた農業対策が必要であるが、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・これまでの我が国の農政は、自国の消費量のみに着目してきたと考えるが、そのような考え方を根本的に変え、輸出を促進する必要があるのではないかと考えるか。
- ・海外の農産物を原材料として輸入し、日本で加工して輸出することについてどのように考えるか。

林 宙 紀君（みんな）

- ・宮城県の水産業復興特区の申請に係る同意協議に際し、農林水産省は、宮城県が地元の漁業者の声を十分に聞いた上で特区を申請したと判断し、同意したのか。
- ・農林水産省は、東日本大震災復興特別区域法による漁業法の特例を、今後全国に広めるための試金石と考えているのか。
- ・営農を継続しつつ支柱を立てて行う太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いについて、一時転用許可の要件のうち「簡易な支柱で容易に撤去できる支柱」とは具体的にはどのようなものか。

畑 浩 治君（生活）

- ・森林整備について、主伐や再造林への支援策の充実が必要ではないか。
- ・国産材の利用拡大のため、供給側の施策に加え、需要拡大の施策をどのように進めていく考えか。
- ・国産材の利用促進のため、新技術の開発を進め、JAS規格等の適用を柔軟に認めるべきではないか。

2 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 21 号）

- ・ 林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。